

■ 関西大学博物館の春季企画展が4月1日にスタート ■

「近世大坂の遊興文化」開催

～ 18日に講演会／絵画・資料で振り返る江戸期の名所・芝居・花街 ～

関西大学博物館では、2026年4月1日（水）から5月30日（土）まで、春季企画展「近世大坂の遊興文化」を開催します。関西大学なにわ大阪研究センターの公募研究班の研究成果を公表する企画展で、江戸期の大阪で花開いた「遊興」の文化を名所・芝居・花街の3章に分けて、関西大学が所蔵する112点の作品で紹介するものです。4月18日（土）13：00からは3人の研究者による記念講演会を行います。

本件のポイント

- ・関西大学博物館の春季企画展「近世大坂の遊興文化」が4月1日にスタート
- ・江戸期に花開いた大坂の遊興文化を名所、芝居、花街の3章に分けて紹介
- ・関西大学が所蔵する美術品や書籍、資料など初公開となる作品も数多く出品

■ 名所

商業都市として発展した大坂の町人文化の中で、名所の風景を描いた作品が数多く誕生しました。大坂画壇の研究は本学を中心に進みつつありますが、今回は版本や一枚摺などの作品も展示、当時の名所を巡ります。

■ 芝居

映画「国宝」をきっかけに再注目される「歌舞伎」は、庶民の娯楽として発展しました。本学は歌舞伎役者を描いた浮世絵や、芝居の宣伝・広報物としての「番付」類などを多数所蔵しています。展示では江戸期の芝居見物や当時の「押し合戦」の熱気を感じることができます。

■ 花街

花街の女性たちは舞踊や三味線などの楽器演奏、能、花、和歌、香道などを身に着けることもでき、独自の文化が発展する場となりました。遊女や芸妓が仮装して練り歩く「ねりもの」は庶民の楽しみとなっていました。本学にはねりものを描いた資料も多く、展示ではその様子を伺うことができます。



< 「近世大坂の遊興文化」の概要 >

① 関西大学博物館春季企画展

【会期】4月1日（水）～5月30日（土）10：00～16：00（入館は15：30まで）

【休館日】日曜日・祝日（4月5日、29日、5月17日は開館） 【入場料】無料

② 講演会

【日時】4月18日（土）13：00～16：00 【会場】関西大学博物館 【定員】先着50人（事前申込制）

【参加費】無料 【司会】山本 卓・関西大学文学部教授 【講師】平井 啓修氏（京都国立近代美術館主任研究員）、中尾 和昇氏（奈良大学文学部准教授）、北川 博子氏（関西大学非常勤講師）

<④三代目尾上菊五郎二十五回忌追善摺物（関西大学図書館蔵）>

⑤浪花名所図屏風（なにわ大阪研究センター蔵）>

この件に関するお問い合わせ先

関西大学 総合企画室 広報課 担当：伊地知、小林

〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3-3-35 Tel.06-6368-1937 Fax.06-6368-1266 www.kansai-u.ac.jp